

松平家史料展示室 企画展

福井藩の年中行事と 武家のくらし

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 令和2年12月3日(木)～
令和3年1月24日(日)
- 休館日 令和2年12月28日(月)～
令和3年1月4日(月)・1月18日(月)

福井城下を中心に、福井藩内で催されていた馬威しや節句、祭礼などを描いた絵巻や屏風などから、江戸時代の年中行事や季節の風物詩などを紹介すると共に、城下に居住した福井藩の武士の俸禄や勤め、衣食住、武芸などに関する古文書や絵図などの資料を通して、武家の暮らしの一端を垣間見ます。

第1章 福井藩の年中行事

江戸後期に福井藩の領内で催されていた年中行事や季節の風物詩を描いた資料に、「福井藩十二ヶ月年中行事絵巻」があります。この絵巻には、福井城下で行われた正月の馬威しや6月の祇園祭、7月の盆踊りなど、多くの参加者や見物人が集まる賑やかな行事や、端午の節句に武家屋敷で行われた行事と風習、9月の鴨猟や11月の將軍家への寒鰯献上など、城下とその近郊で見られた風物詩が、月ごとに描かれています。

今回の展示では、絵巻に登場する馬威しと鴨猟に関する資料も展示しています。馬威しは旧暦の正月14日に催された行事で、武士にとって馬術訓練や軍事訓練となりました。「馬威し図屏風」や「爆竹調馬之図絵」には、福井城桜門から乗馬した藩士たちが城外に出て、本町通りを通り、終点の九十九橋へ向かう姿が描かれています。街路では武士たちが、町人や領民たちから進行妨害を受けていますが、この両者の攻防を一目見ようと毎年大勢の見物人が集まりました。また、毎年、秋から春先にかけて、足羽山の一部である加茂山・山ノ奥の猟場では、Y字型をした投げ網を使用して鴨や雁を捕獲する、「坂鳥」「坂鳥打」と呼ばれる猟が盛んに行われていました。この猟場は、藩内の他の猟場と違い、特定の武士だけに利用が許されていたようです。



馬威し図屏風 当館蔵



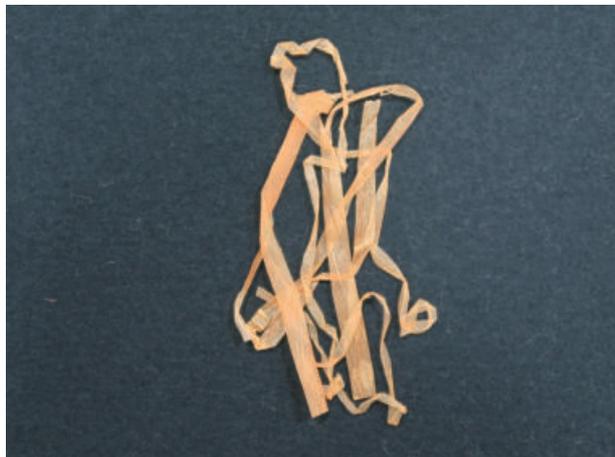
福井藩十二ヶ月年中行事絵巻
福井市春嶽公記念文庫

第2章 武家のくらし

福井藩の藩士(武士)は、主君である藩主(松平氏)に仕え、藩主から俸禄(家禄)を与えられましたが、これが主な収入源となっていました。俸禄は知行取と切米取に分けられており、知行取は知行地の村々から年貢米を取得していましたが、切米取の下級武士たちには、藩から米が支給されました。各家の代替りの際に行われた家督相続は、家が存続するための重要な出来事でした。藩士たちはその家の家格に応じた役職に就き、様々な役目を果たしました。

藩士には、家格や禄高に応じた広さの屋敷が与えられていましたが、屋敷替が行われることもありました。大身の屋敷になると、多数の家臣(陪臣)を召し抱えていたので、その人たちが居住する長屋も設けられていました。藩士の衣服は、絹や紬などの絹織物の着用が認められていましたが、幕末期になると藩は儉約や簡素化を命じ、衣服も主に綿織物へと改められました。そうした風潮の中で、藩士の日常の食事は一汁一菜を基本とし、祝宴でも酒肴は三品までと定められました。普段の食事は質素なものとなりましたが、正月や盆行事、節句など年中行事が催される日には、飾付けや供え物がなされ、特別な食事を摂りました。

統治者である藩士たちは、日頃からその身分に相応しい学問や武芸を修める必要がありました。その中の武芸には、剣術・槍術・弓術・砲術・馬術・柔術などの武術があり、複数の武術を修練する者もいました。



拝領の熨斗



末代子孫江申贈條々 松原直子氏蔵 当館寄託

出品目録

	資料名	点数	所蔵
第1章 福井藩の年中行事			
○福井藩十二ヶ月 年中行事絵巻	1 福井藩十二ヶ月年中行事絵巻	1巻	福井市春嶽公記念文庫
	2 越前国古今名跡考	1冊	当館蔵
○福井城下の馬威し	3 馬威し図屏風	1双	当館蔵
	※4 爆竹調馬之凶絵	1巻	越葵文庫 当館保管
	5 続片嚙記	1冊	当館蔵
○城下近郊の鴨猟	6 左義長馬おどし名前	1綴	福井市春嶽公記念文庫
	7 越前国古今名跡考	1冊	当館蔵
	8 投げ網	1本	当館蔵
第2章 武家のくらし			
○俸禄と家督相続	9 知行宛行状	1通	当館蔵
	10 書出	1通	酒井康氏蔵 当館寄託
	11 御家中家督順	1冊	当館蔵
	12 拝領の熨斗(包紙共)	1点	当館蔵
○勤役	13 書出	1通	当館蔵
	14 御用手紙	2通	松原直子氏蔵 当館寄託
	15 御用書	1通	松原直子氏蔵 当館寄託
	16 勤書	1冊	松原直子氏蔵 当館寄託
	17 勤書	1冊	大谷恵子氏蔵 当館寄託
○住まいと衣服	18 酒井家屋敷図	1幅	酒井康氏蔵 当館寄託
	19 福井城旧景	1帖	当館蔵
	20 松平家屋敷図	1舗	当館蔵
	21 福井温故帖	1帖	越葵文庫 当館保管
	22 諸事心覚	1巻	松平直子氏蔵 当館寄託
	23 家譜	2冊	越葵文庫 当館保管
○年中行事と食	24 葵紋付浅葱麻地輪違模様半袴	1具	福井市春嶽公記念文庫
	25 家譜	1冊	越葵文庫 当館保管
	26 年中諸事心覚控	1綴	松原直子氏蔵 当館寄託
○武芸	27 末代子孫江申贈條々	1通	松原直子氏蔵 当館寄託
	28 武術履歴書	1冊	松原直子氏蔵 当館寄託
	29 千返遣	1通	当館蔵

※この資料は12月21日(月)までは写真を展示し、12月22日(火)以降は原本を展示します。

展示解説シート No.137

令和2年12月3日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1

電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489

担当 印牧信明

印刷 宮本印刷

次回の展示

企画展「史料からみる福井の災害」

令和3年1月28日(木)～3月16日(火)